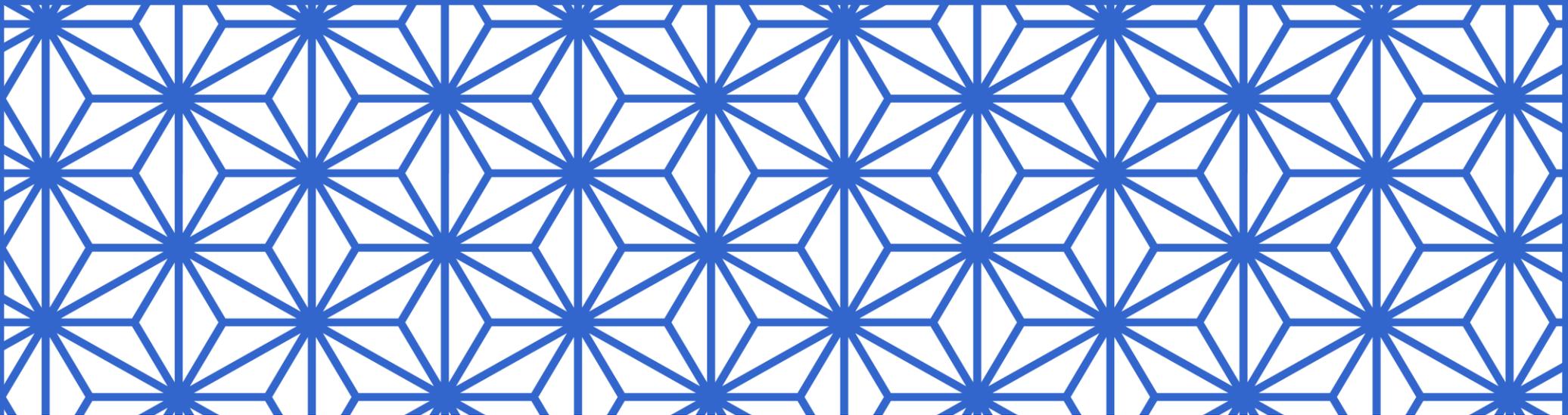


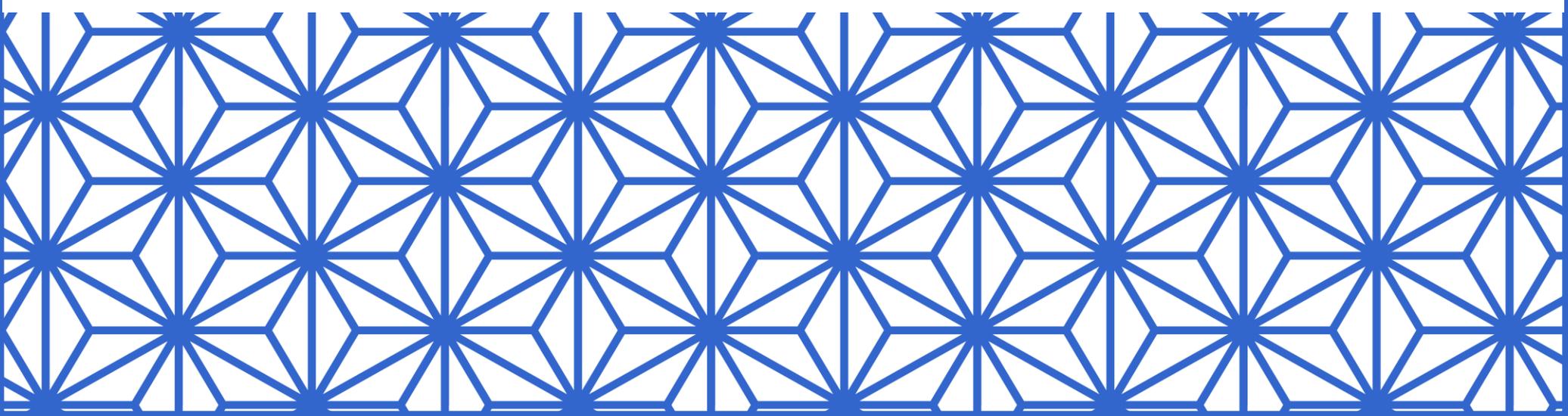
大和インベスター・リレーションズ主催 IRセミナー  
株式会社 **クレスコ** のご紹介

2019年3月9日(土)  
株式会社 **クレスコ**

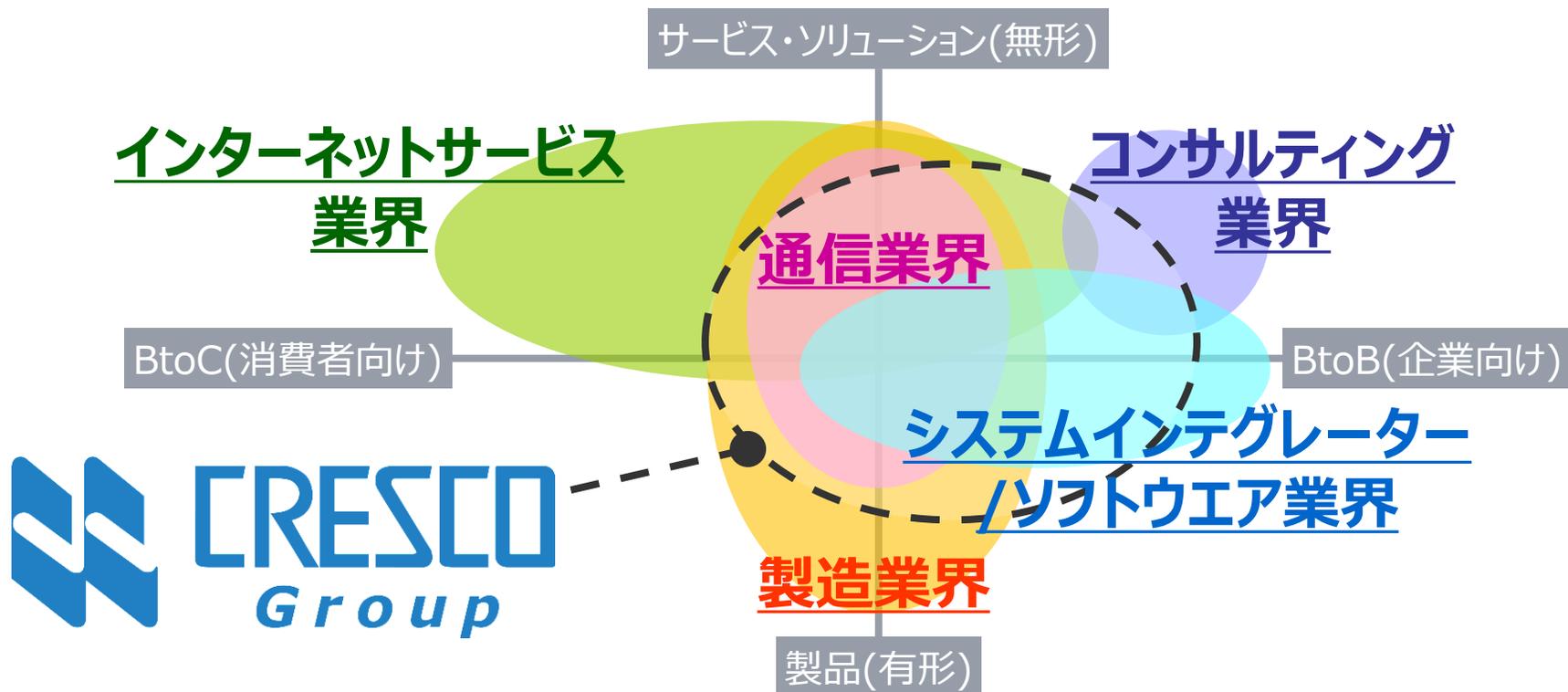
- ① **クレスコ** の概要
  - ② **クレスコ** のビジネスの特徴
  - ③ 直近の業績 と 今後の見通し
  - ④ 経営指標 と 株主還元
- ご参考** 補足情報・データ 等



**1** クレスコの概要



- メーカー企業やユーザー企業を親会社としない、**独立系**
- 主な事業は、お客様のご要望に合わせた**オーダーメイド**によるシステム開発(**受託開発**)
- **BtoB**(**企業向け**)を軸足としながら、ITビジネス領域のほぼすべてをカバー



第3四半期

セグメント	事業	分野	売上高比率
ソフトウェア開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスアプリケーション開発</li> <li>・IT基盤システム構築</li> <li>・オリジナル製品・サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融 (銀行、保険 etc.)</li> <li>・公共・サービス (旅行、人材、物流、航空、鉄道、電力、放送、医療 etc.)</li> <li>・流通・その他 (小売、不動産、情報・通信、製造 etc.)</li> </ul>	81.9%
組み込み型ソフトウェア開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組込型ソフトウェア開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信システム (携帯情報端末 etc.)</li> <li>・カーエレクトロニクス (デジタルメーター、センターディスプレイ etc.)</li> <li>・その他 (デジタル家電、医療機器、制御システム etc.)</li> </ul>	17.9%
商品・製品販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子会社「クレスコワイヤレス」の商品・製品販売</li> </ul>		0.1%

銀行の情報系システム



ツアー旅行／宿泊施設のWEB予約



飛行機の座席予約



人材派遣／人材紹介の人材マッチング



コンビニ端末のシステム



宅配便の荷物追跡

宅配ドライバーの端末



映画館の座席予約



量販店のPOSシステム



音楽配信



車のディスプレイ



ビデオカメラ



スマートフォンのカメラ



テレビ



内視鏡



AIスピーカー



鉄道の電力制御



設立	1988年4月1日	資本金	25億1,487万5,803円
本社所在地	東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟 25階～27階		
代表者	代表取締役 会長 <b>岩崎 俊雄</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>当社を創業</b></li> <li>・ 防衛大学校卒業</li> <li>・ 日本IBM出身</li> <li>・ MBA取得</li> <li>・ 当社の前身会社を創業</li> <li>・ 趣味 … ゴルフ</li> </ul>		代表取締役 社長執行役員 <b>根元 浩幸</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>2014年4月、社長に就任</b></li> <li>・ 北海道大学卒業</li> <li>・ 当社の前身会社に入社</li> <li>・ 金融系システム開発の技術者</li> <li>・ 趣味 … 山登り</li> </ul>
従業員数 (2018年4月1日時点)	連結 2,069名 [男性 1,648名、女性 421名、女性比率 20.3%]		
連結子会社数	11社	関連会社数	3社
上場市場	東証1部 [証券コード：4674]		
発行済株式総数	12,000,000株	単元株式数	100株

## テクトロン(株)

### マイクロコンピュータシステムの開発

創業 : 1976年

代表者 : 岩崎 俊雄

(現 : 当社の 代表取締役 会長)



## (株)メディアリサーチ

### IT基盤システムの構築

創業 : 1984年



## 1988年 合併



社名の由来

企業活動の成長が世界の人々の幸福に可能な限り最大の貢献をすること、そして、そこに働く人々が共に喜びと誇りを持ち、自己の能力を最高に発揮できることが企業の使命であると考え、ラテン語で「成長する」という意味を持つ「CRESCO」を社名としております。

クレスコ憲章

- 一、クレスコ は人間中心、実力本位の会社である
- 一、クレスコ は自由、若さ、夢をもつ会社である
- 一、クレスコ は最高の技術を発揮する会社である
- 一、クレスコ は皆が経営する会社である
- 一、クレスコ は世界で生きる会社である

The background of the slide is a repeating blue geometric pattern. It consists of a grid of lines that form a series of interconnected shapes, including squares and hexagons, with some lines extending further to create a star-like or lattice effect at the intersections.

## 2 クレスコのビジネスの特徴

- 仕事の受け方(受注)は、  
建築業界の多重構造に近似

銀行等の**大規模システム**は  
ベンダー経由

エンドユーザ企業

エンドユーザ企業

大手ベンダー企業



×



×

パートナー企業

- オーダーメイド開発(受託開発)の契約の形態は一般的に3種類あり、  
作業段階・事業計画・リスクで契約形態を選択

**派遣**

**SES**

**請負**

(システム エンジニアリング サービス)

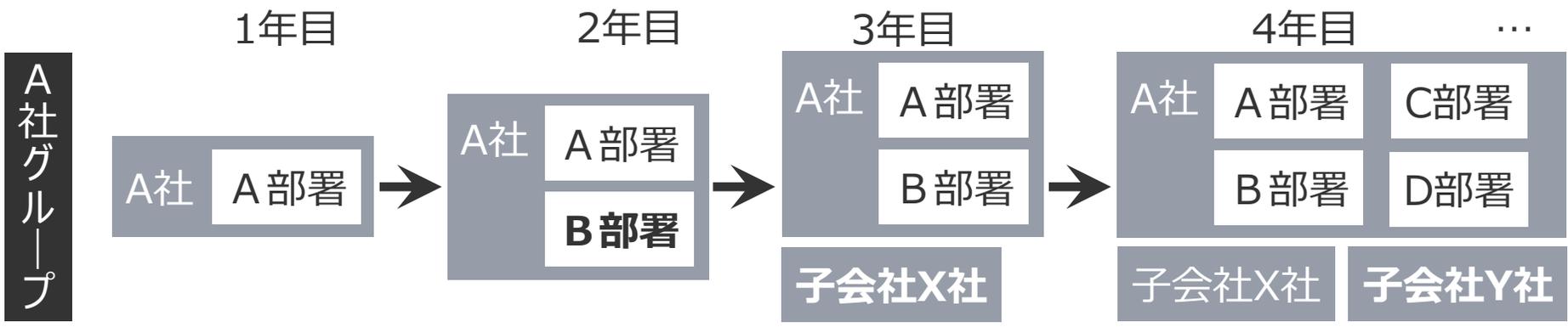
リスクは低いが、  
主導権はお客様

新規お客様との  
信頼関係構築段階や、  
提案型の仕事に向く

裁量権は当社で、  
利益は出やすいが、  
責任は大きい

契約形態	労働管理 指揮命令	支払 要件	成果物 責任	リスク	利益
<b>派遣</b>	発注側	労働力	発注側	<b>低</b>	低
<b>SES</b>	<b>受注側</b>	労働力	発注側	<b>中</b>	<b>中</b>
<b>請負</b>	<b>受注側</b>	<b>成果物</b>	<b>受注側</b>	高	<b>高</b>

## 1 小さく入り、年々拡大



## 2 継続して開発(保守開発)



## 3 横展開して開発(知財活用)



- 特定の業種・業態に偏らず、

約**500社**の幅広い企業がお客様

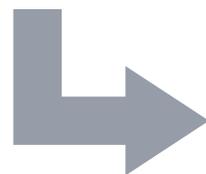
※お客様の会社名は、配布資料「会社案内」をご覧ください。

メリット1

**リスクの分散**

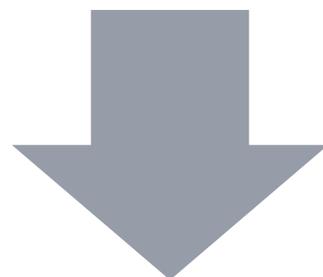
メリット2

**業種によって異なる景気の波**



- ① 受託開発は景気遅効性の傾向
- ② **需給の変化や景気の波を予測して、事業体制の変更・人員シフトを行い、業績へのマイナス影響を最小限に**

年間プロジェクト数  
約**800件**



そのうちの約**9割**が**リピート**  
**安定**した受注

## プロジェクト毎に 利益率のバラつきを出さない

お客様の業種・業態を問わず、原則として、  
**全プロジェクト共通の目標利益率**を設定

※一部の政策的プロジェクトは除く

## 共通の目標利益率が出ない時は 仕事を受けない

お客様から仕事を受ける(受注)前に、  
取締役 & 関係部署長 & 品質管理部署が**受注レビュー**を行い、  
収益性・事業の方向性・リスク等を勘案し、**受注を判断**

## 全プロジェクトの収益性は 毎週チェック

週次でプロジェクトの収益性をチェックし、  
**下振れリスクが高いプロジェクト**は取締役会等で報告し、  
収益が改善するまで**監理プロジェクトに指定**し、徹底管理

## 品質を管理する専門部署

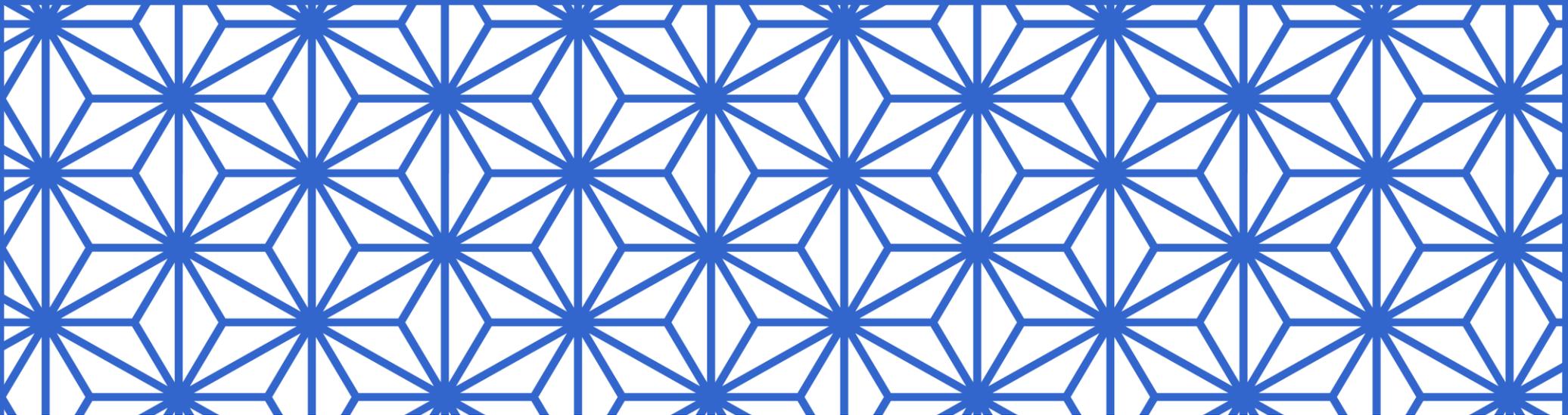
- 「品質・コンピテンシー管理室」
- 現場の第一線で活躍できる**ベテランの担当者を配置**
- 全プロジェクトを俯瞰して**早期に問題点を把握**し、不採算プロジェクトの発生を未然に防止

## 管理職によるプロジェクト管理

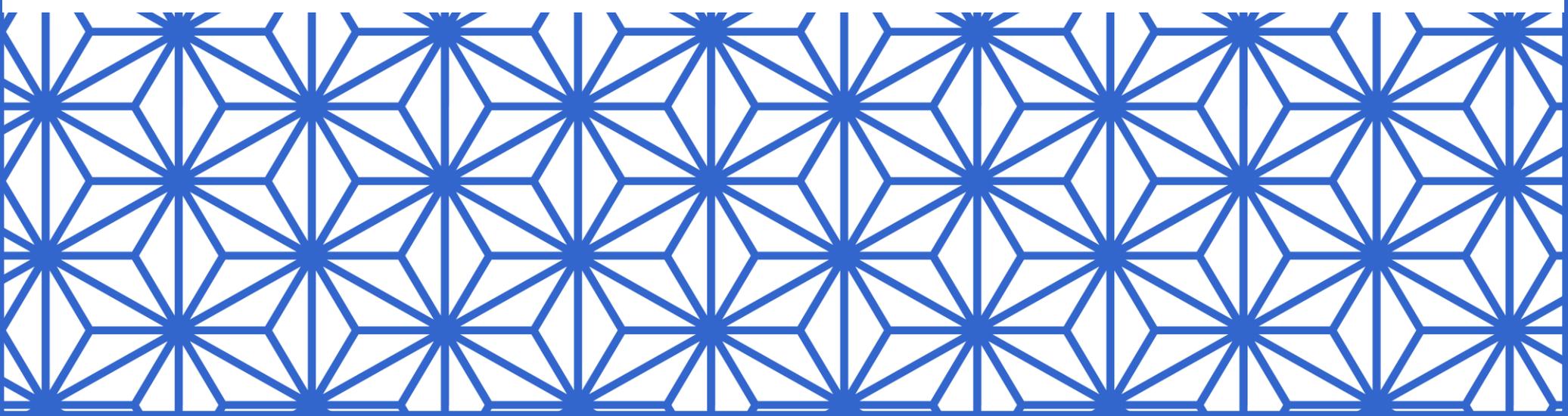
- プロジェクト責任者であるプロジェクトマネージャー(PM)は、**全員管理職**
- プロジェクトマネジメントの国際資格「PMP®」を**全員取得**
- PMはプロジェクトの**収益に責任**を持ち、共通の言語 & 尺度により管理を行い、プロジェクトマネジメント品質を向上

## こまめにチェック

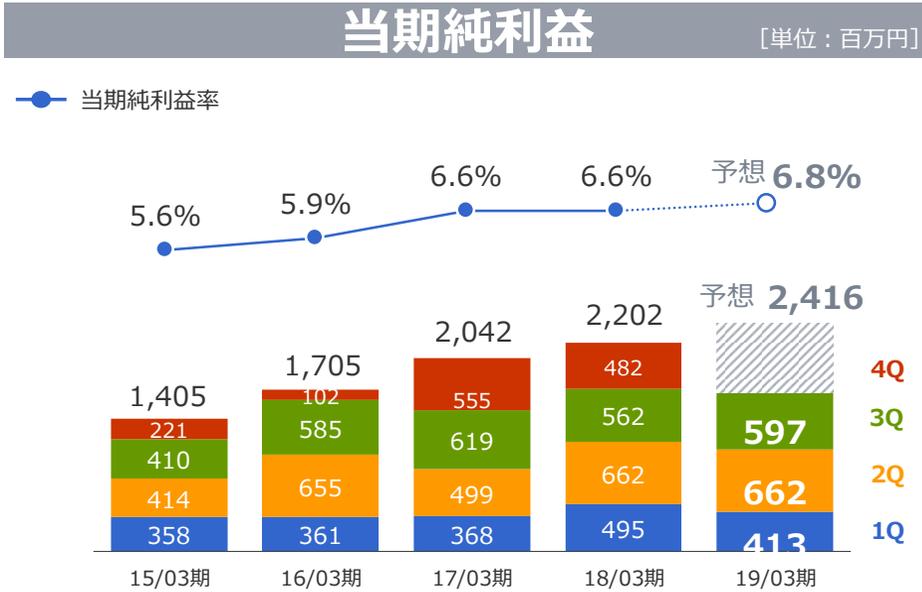
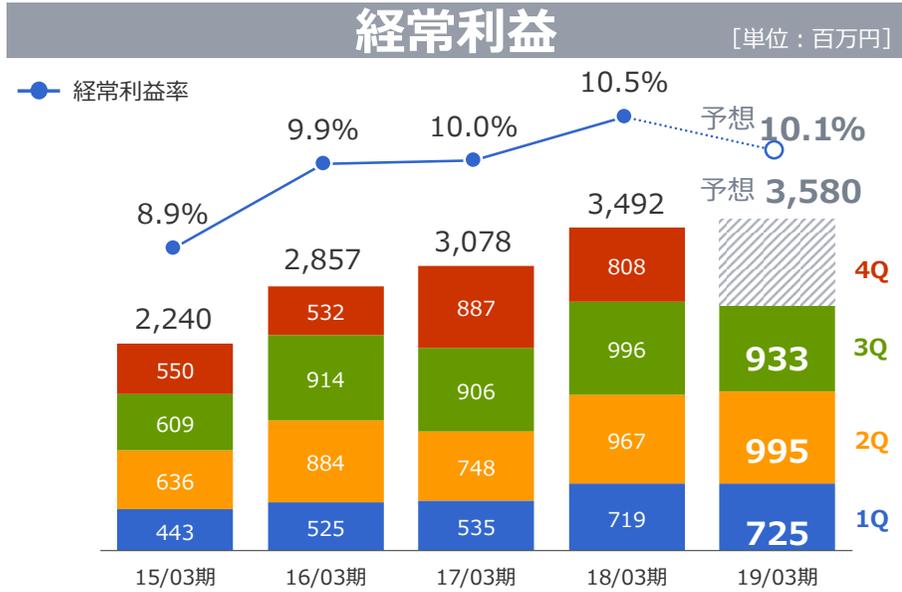
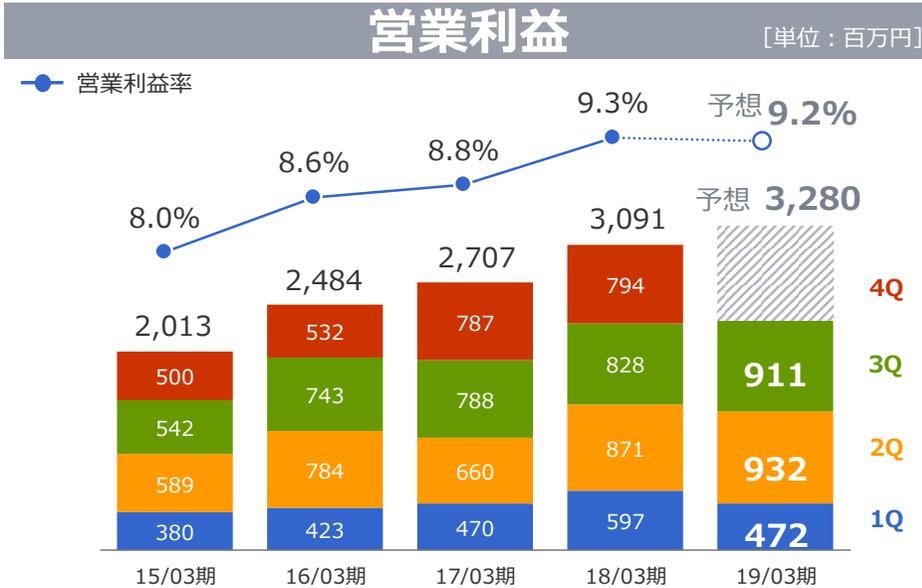
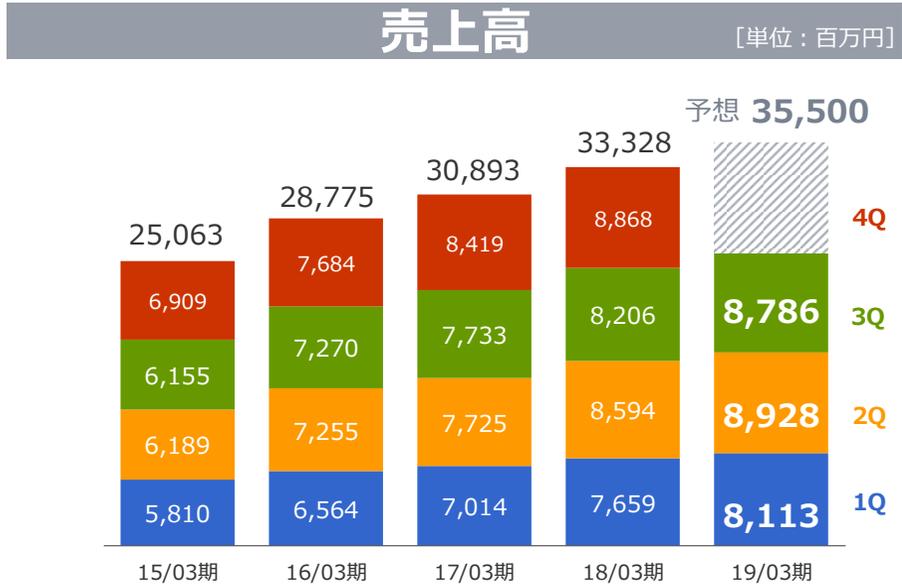
- 成果物の**品質**は**段階毎**のレビューでチェック、プロジェクトの**進捗**は**週次**でチェック
- 不具合と進捗遅延はこまめにチェックし、**トラブルの煙は初期消火**
- 品質確保 & 納期厳守



### 3 直近の業績と今後の見通し



# 3.1. 業績の推移 [連結]

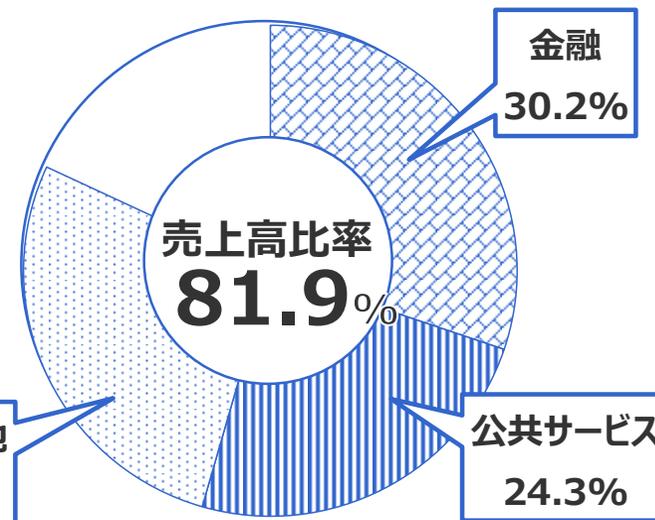
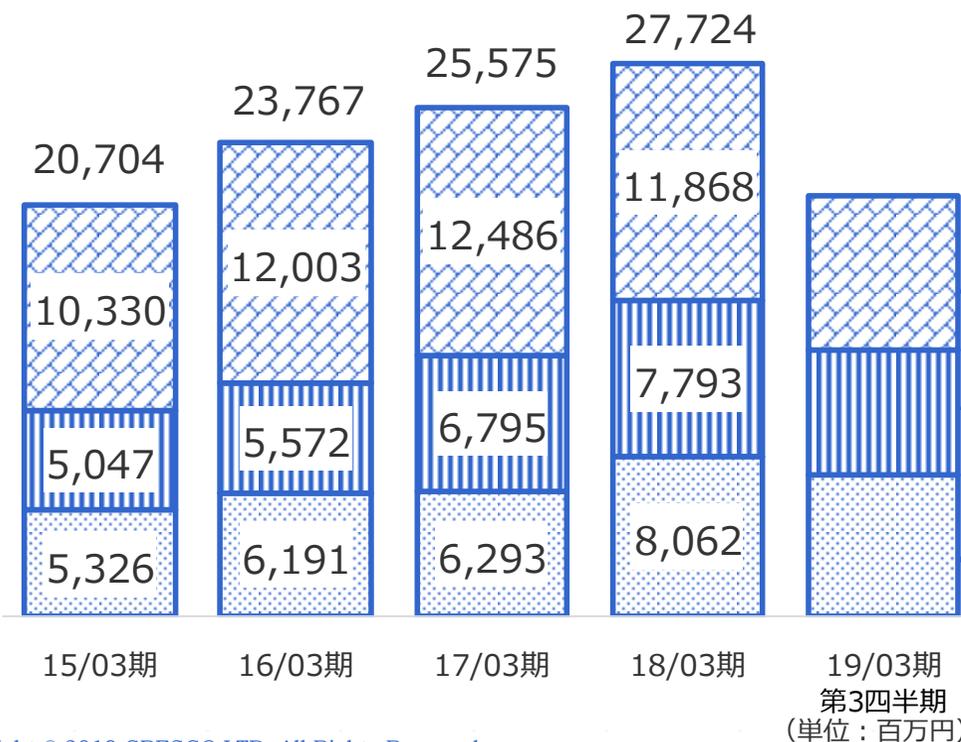


第3四半期

## ソフトウェア開発

売上高 **211億63百万円**

セグメント利益 **23億13百万円**



金融 **77億97百万円**

公共サービス **62億66百万円**

流通・その他 **70億 99百万円**

(単位：百万円)

第3四半期

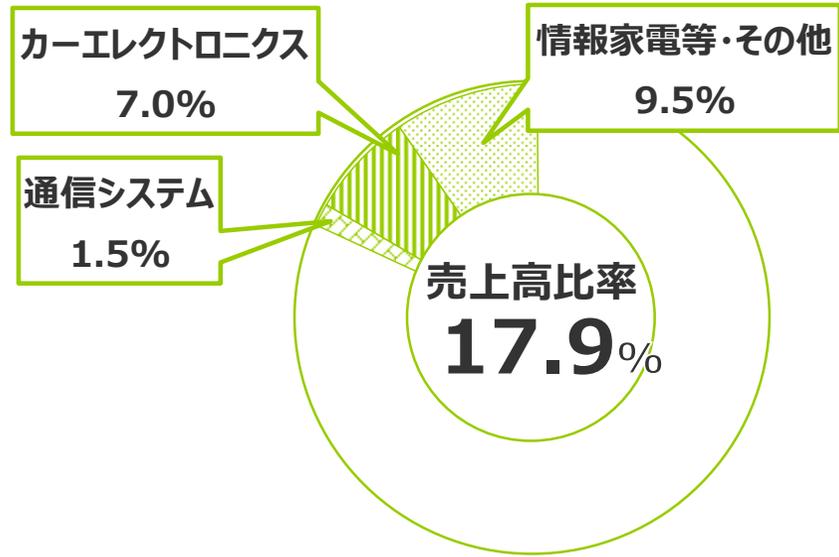
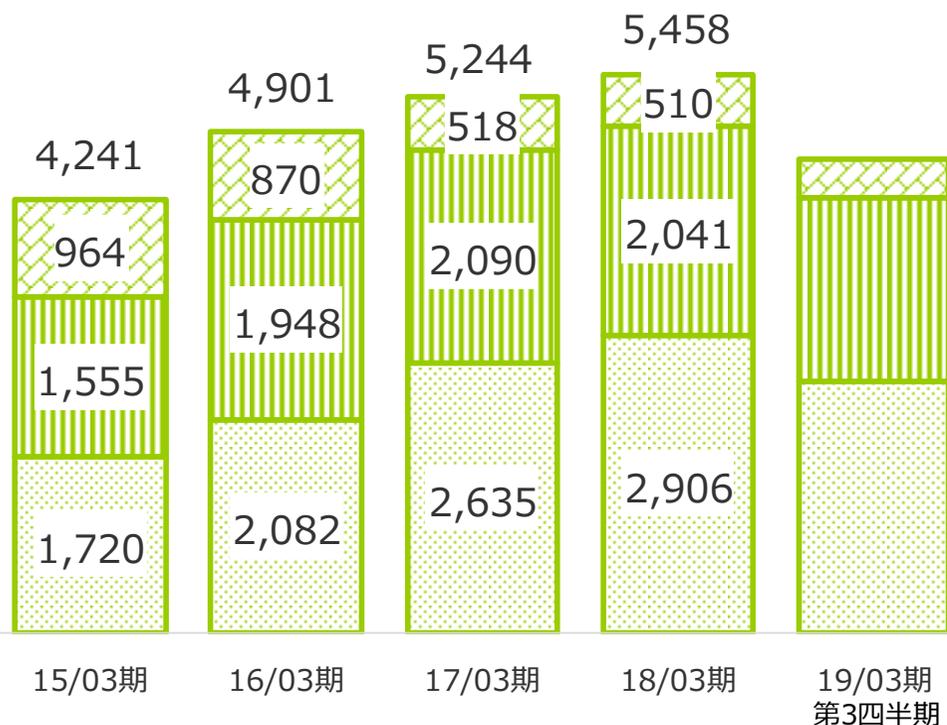
## 組込み型ソフトウェア開発

売上高

**46億31百万円**

セグメント利益

**8億55百万円**



通信システム **3億83百万円**

カーエレクトロニクス **18億1百万円**

情報家電等・その他 **24億46百万円**

(単位：百万円)

- ◆ 経済見通しは、基調としては拡大傾向
- ◆ 省力化、競争力強化を主眼としたIT投資の増加
- ◆ 東京オリンピック、インバウンドへの対応などが下支え



IT投資のトレンドは、**引続き拡大**

**需要の拡大に伴い、  
人材の不足感は  
依然否めず**

**優先課題**

- ◆ 継続的な人材の獲得・育成
- ◆ 生産性向上
- ◆ 開発体制の強化

2018/5/8公表 予想

第3四半期 進捗率

売上高

**355億円**

前期比 6.5%増

258億28百万円

72.8%

営業利益

**32億80百万円**

前期比 6.1%増

23億16百万円

70.6%

経常利益

**35億80百万円**

前期比 2.5%増

26億54百万円

74.1%

親会社株主に帰属する

当期純利益

**24億16百万円**

前期比 9.7%増

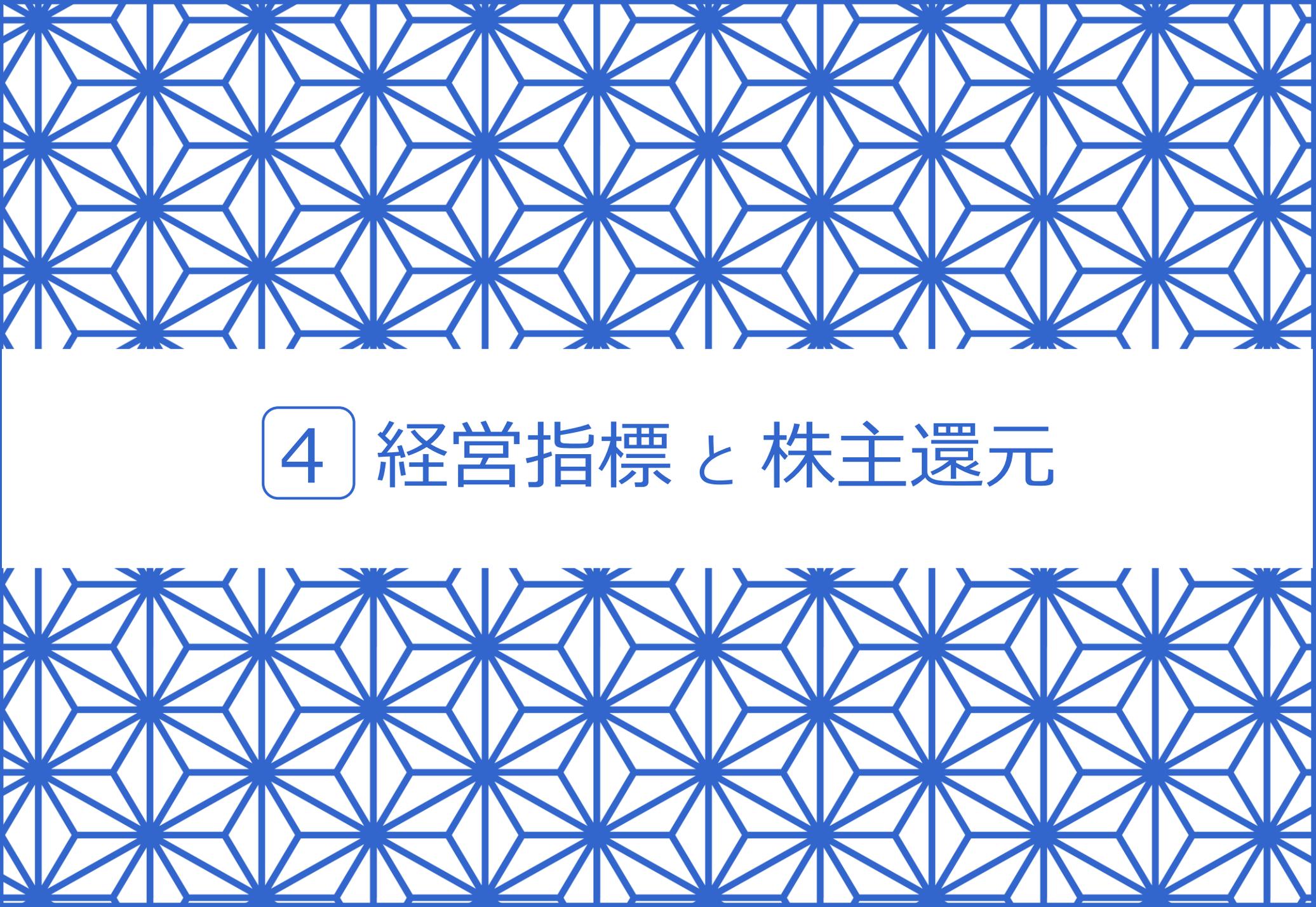
16億73百万円

69.3%

0%

50%

100%

The background of the slide is a repeating blue geometric pattern. It consists of a grid of lines that form a series of interconnected shapes, including squares and hexagons, with some lines extending further to create a star-like or lattice-like appearance. The pattern is uniform and covers the entire page.

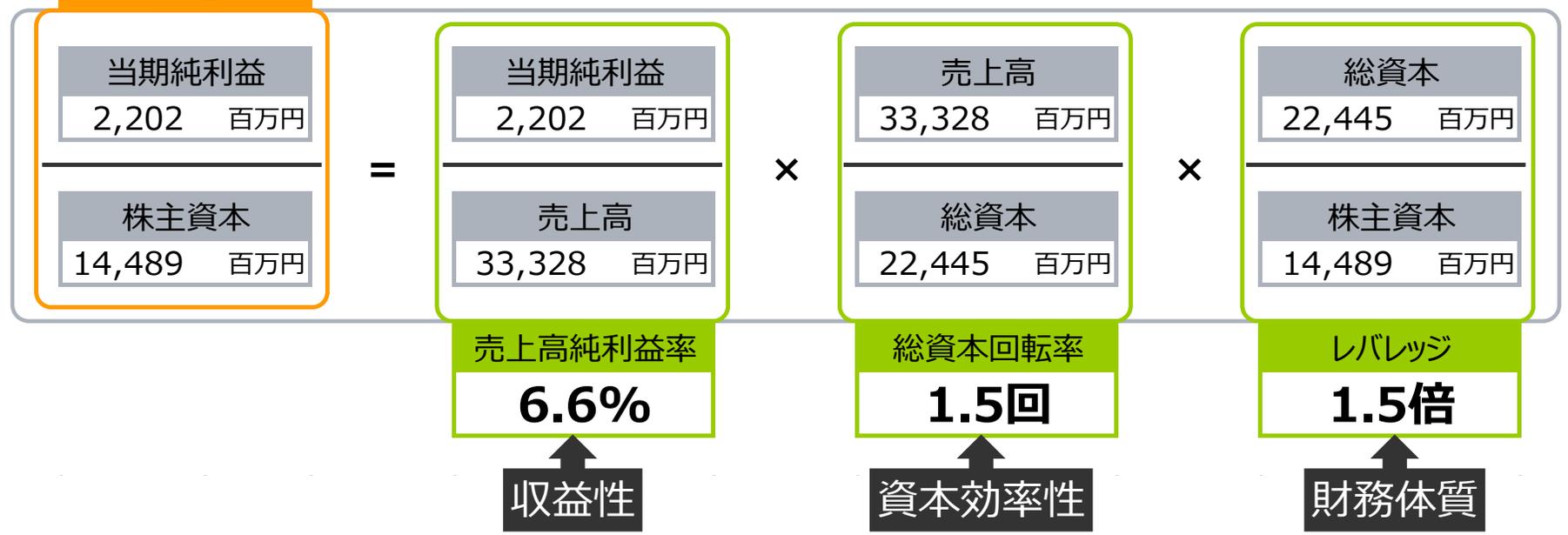
## 4 経営指標と株主還元

# 4.1. 経営指標の目標 [連結]

	目標	2018年3月期 実績
営業利益率	10.0%	9.3%
ROE(株主資本利益率)	10.0%	15.2%
DOE(株主資本配当率)	4.0%	5.5%



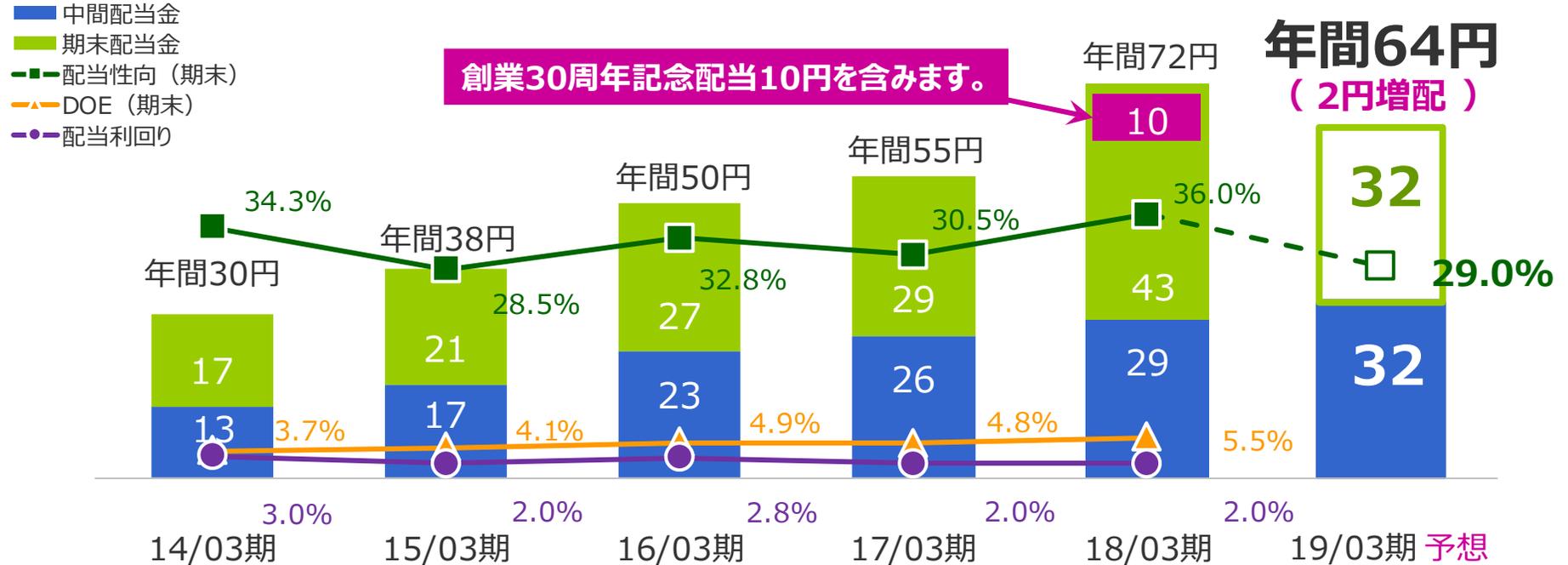
**15.2%**  
ROE



# 4.2. 株主還元方針

## 株主還元方針

- ◆ 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、**業績に裏付けられた適正な利益配分を維持**することを基本方針としております。
- ◆ **株主優待は行っておりません。**
- ◆ 配当は、**当社(単体)**の経常利益を基に特別損益を零とした場合に算出される**当期純利益の40%相当を目途**に継続的に実現することを目指してまいります。



# クレスコ IRサイト 大和IR「2018年インターネットIR表彰」 「優秀賞」を受賞

IR情報  
Investor Relations

経営情報 | ESG | 財務・業績情報 | 個人投資家のみなさまへ | IR資料室 | IRイベント | 株式情報

> IR情報

このページを印刷する | 文字サイズの変更 | 小 | 大

クレスコの株価  
東証1部:4674  
2019/02/25 15:00

現在値 **3,385** 前日比 **-5**

リアルタイム (出来高は20分遅れ)  
始値3,420 高値3,430 安値3,355 出来高17,100株

株価チャート  
powered by (株)東証コンピューターシステム

English: For Investors

最新決算資料  
2019年3月期 第3四半期 決算発表  
2019年2月5日(火)

決算短信 [316KB]

決算記者会見配布資料 [1.24MB]

決算補足データ [1.75MB]

その他の決算報告関連資料

個人投資家のみなさまへ  
For Individual Investors

よくわかるクレスコ5ポイント

POINT 1 クレスコとは? | POINT 2 成長の軌跡 | POINT 3 成長の理由 | POINT 4 成長戦略 | POINT 5 株主還元

会社説明会  
開催当日の動画を掲載しています。

次回の説明会開催予定  
大和インベスター・リレーションズ主催  
2019年3月9日(土) 13:00~15:00  
東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキ ノースタワー 18階  
大和コンファレンスホール

今後のIRイベント  
2019年5月09日(木) 16:00予定  
2019年3月期 決算発表

2019年5月16日(木) 17:15~  
証券アナリスト向け決算説明会

Read More

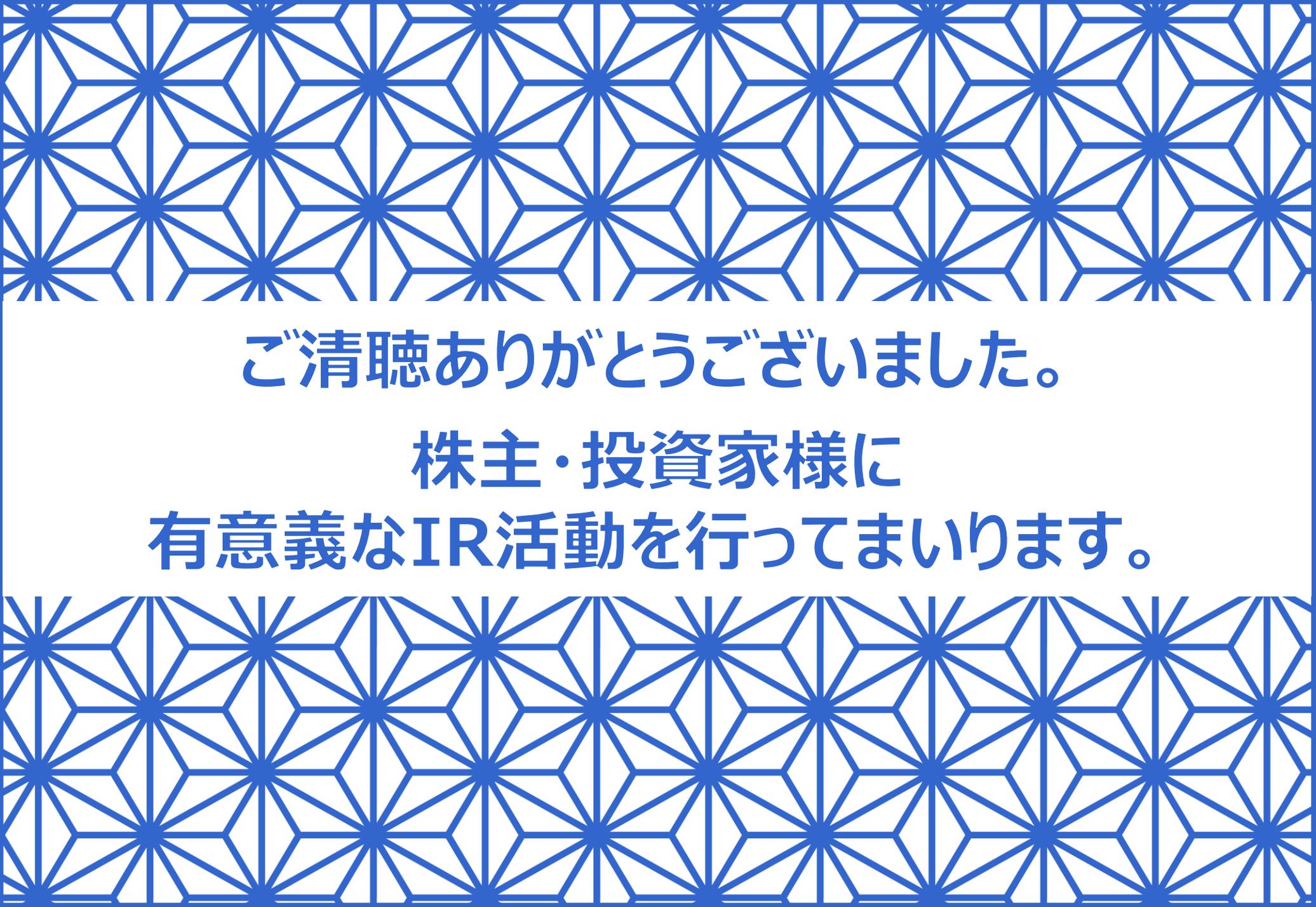
トップメッセージ  
Top Message  
株主・投資家のみなさまに向けてのメッセージを掲載しています。

動画 | テキスト

業績ハイライト | 最新IR資料 | IRに関するお問い合わせ | よくいただく質問 | IRポリシー | IRに関する免責事項

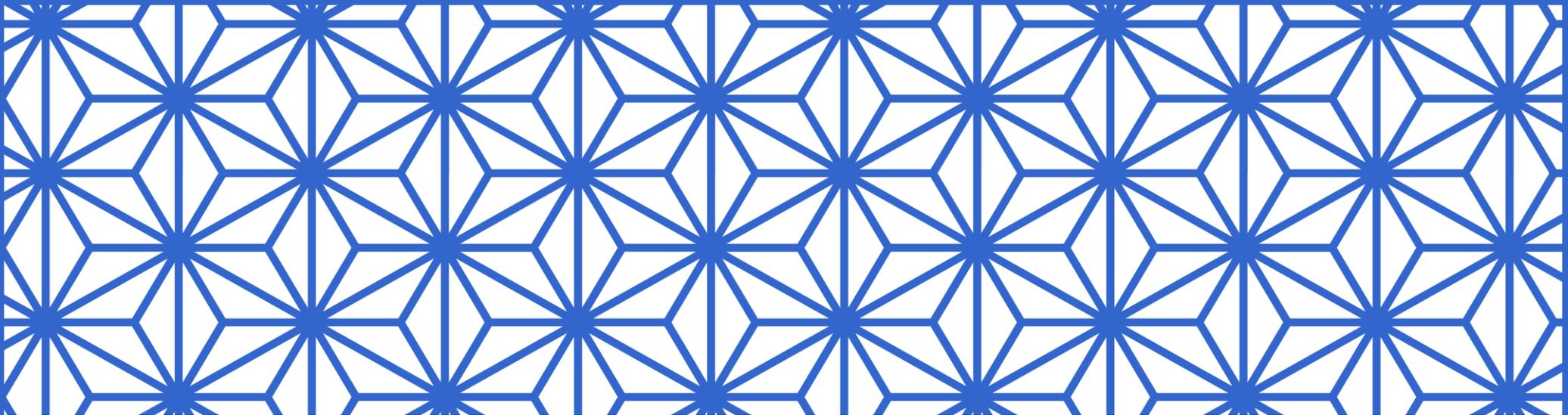


<https://www.cresco.co.jp/>

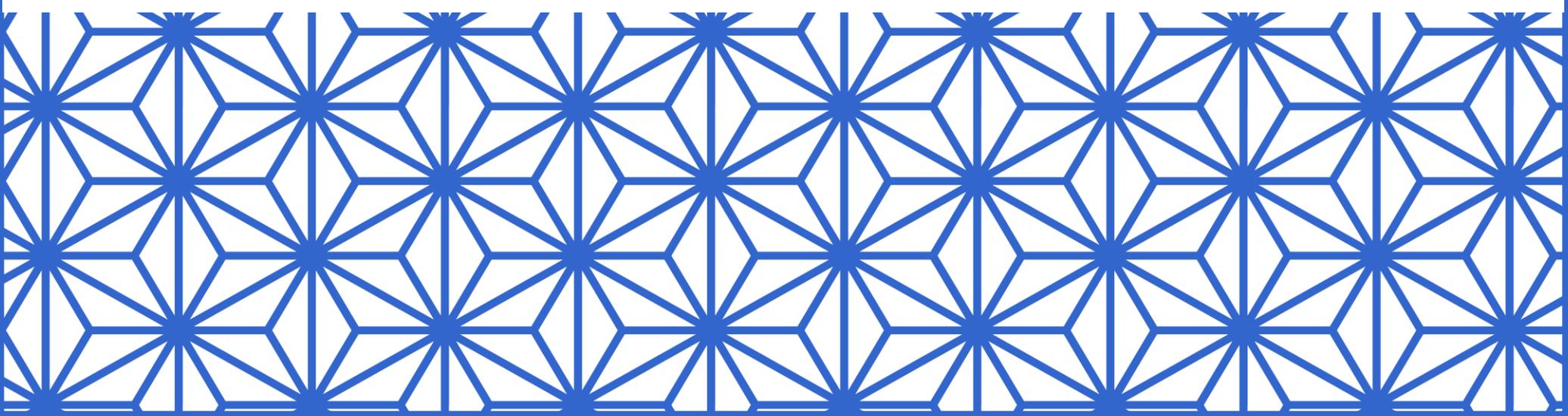
The background of the entire image is a repeating blue geometric pattern. It consists of a grid of lines that form a series of interconnected, star-like or floral shapes. Each shape is composed of multiple lines radiating from a central point, creating a complex, crystalline structure. The pattern is uniform and covers the entire area.

**ご清聴ありがとうございました。**

**株主・投資家様に  
有意義なIR活動を行ってまいります。**



**ご参考** 補足情報・データ 等



[2018年6月15日時点]

## 1. 経営環境の変化に関するリスク

当社企業グループでは、経営環境の変化に柔軟に対応するため、市場動向の調査や事業領域・お客様層の拡大に努めておりますが、IT投資は、内外情勢や経済状況、景況感の他、国が推進、要請するIT戦略、高齢化や人口減少に伴う構造変化等により、その需要が大きく左右される傾向が強まっております。したがって、経済が低迷し、景気が悪化する場合にはIT投資が減少する恐れがあり、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 2. 見積り違いおよび納期遅延等の発生に関するリスク

当社企業グループは、プロジェクトの作業工程等に基づき必要工数やコストを予測し、見積りを行っておりますが、すべてのプロジェクトに対して正確に見積ることは困難であり、仕様変更や追加作業に起因する作業工数の増大により実績が見積りを超えた場合、低採算または採算割れとなる可能性があります。

また、当社企業グループは、独自のメソッドに基づいたプロジェクトマネジメントを実践し、「品質(Q)、価格(C)、納期(D)」の厳守に努めております。しかしながら、外部要因をはじめとするリスクを完全に回避することは難しく、お客様と予め定めた期日までに作業を完了・納品できなかった場合には損害遅延金、最終的に作業完了・納品ができなかった場合には損害賠償が発生し、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 3. 情報セキュリティに関するリスク

当社企業グループは、業務遂行上、様々な秘密情報（営業情報、お客様情報、個人情報など）を取り扱う場合があり、慎重な対応と厳格な情報管理の徹底が求められております。これに対し当社は、内部統制委員会および情報セキュリティ委員会を設置し、各種ポリシーを定め、関連する規程類を整備し、情報インフラの更改やマネジメント体制の強化など万全の対策を取っております。

さらに従業員および協力会社に対しては、誓約書を取り交わした上で適切な研修やセキュリティチェックを継続的に行い、情報管理への意識を高め内部からの情報漏洩等を防いでおります。また、個人情報保護法への対応強化も推進し、プライバシーマークの認定やISMSの取得に取り組むとともに、個人情報マネジメントシステム(PMS)に則った責任体制を明確にし、安全管理に努めております。しかしながら、これらの施策にもかかわらず個人情報や秘密情報が万一漏洩した場合には、損害賠償責任、社会的信用の喪失等の発生により、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 4. 特定の取引先への依存度について

当社企業グループは、連結売上高のうち日本アイ・ビー・エム(株)への売上高の割合が高く、その状況は次のとおりです。

相手先	2017年3月期末		2018年3月期末	
	売上高（千円）	割合	売上高（千円）	割合
日本アイ・ビー・エム(株)	5,196,838	16.8%	4,697,689	14.1%
連結売上高合計	30,893,555	100.0%	33,328,477	100.0%

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

なお、当社と日本アイ・ビー・エム(株)との間で、取引基本契約を締結しており、取引関係については取引開始以来永年にわたり安定したものとなっておりますが、日本アイ・ビー・エム(株)の事業方針や外注政策が変化した場合には、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 5. 人材の確保や育成および退職に関するリスク

優れた人材の採用および育成は当社企業グループの業績にとって重要課題の一つと認識しており、特に有能なシステムエンジニアは今後の事業拡大に不可欠であります。当社企業グループでは、人材確保に向け、インターンシップ採用の強化や社員紹介による採用に取り組んでおります。また、退職の防止やリテンション対策も大きな課題と認識し、オフサイトミーティングやコーチング・メンター制度を実施しております。しかしながら、このような取り組みや施策にもかかわらず、計画通りに人材を確保、育成できず、また、退職者が増加した場合には、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 6. 協力会社(ビジネスパートナー)との連携体制に関するリスク

当社企業グループは、事業運営に際して、協力会社との連携体制を構築しております。連携体制を強化するため、案件情報の提供やビジネスパートナーフォーラムの開催といった諸施策を講じておりますが、協力会社を適宜、適正に確保できない、あるいは関係に変化が生じた場合、プロジェクトの立ち上げや遂行、サービスの提供に支障が発生する等により、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 7. 長時間労働と過重労働に関するリスク

当社企業グループは、開発プロセスの構造的な問題や業務における属人性の高さに鑑み、従前から労働時間管理や有給休暇の取得推進等、労務管理に積極的に取り組んでおります。しかしながら、当社企業グループが提供するサービスまたは製品の他、システムの開発体制やお客様のシステム障害、開発遅延プロジェクトの対応などにより、長時間労働や過重労働が発生し、それらを起因とした健康問題や生産性の低下により、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 8. 競争激化に関するリスク

当社企業グループは、先端技術を活用した事業を今後の成長領域と捉え、継続的に競争力を高め、お客様満足度を向上すべく、他社との差別化を図っております。しかしながら、今後、成長領域における新規参入企業が増加し、当社企業グループの特徴が標準的なものとなり差別化が難しくなること、これまでにない全く新しい技術を活用した画期的なサービスを展開する競合他社が出現すること等の結果として、競争が激化した場合には、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 9. コンプライアンスに関するリスク

当社企業グループでは、当社の内部統制委員会を中心として、「内部統制システムの構築に関する基本方針」「コンプライアンス経営行動基準」を制定し、企業倫理の向上を図るとともに、当社企業グループの役員・社員ひとりひとりに法令および社内規程等の遵守を徹底させております。しかしながら、コンプライアンスに関わるリスクを完全に回避することは難しく、法令等に抵触する事態が発生した場合には、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 10. 市場環境の変化に関するリスク

当社企業グループの事業領域においては、技術革新の進歩も速く、それに応じて業界標準および利用者のニーズが急速に変化しております。このような変化に対応するため、関連するサービスや製品も相次いで登場しておりますが、これらの新たな業界標準となる技術等への対応が遅れた場合、当社企業グループの提供するサービスや製品が陳腐化し、競合他社に対する競争力の低下を招き、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 11. 訴訟等に関するリスク

事業活動に関連して、提供するサービスまたは製品に関する責任、労務問題等に関し、訴訟を提起される可能性があり、その動向によっては損害賠償請求負担や信用の失墜等により、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。また、当社企業グループでは、提供するサービスまたは製品が、第三者の知的財産権を侵害することの無いように、啓蒙および社内管理体制を強化しておりますが、当社企業グループが把握できないところで第三者が既に知的財産権を保有している可能性があります。この場合、侵害を理由とする訴訟提起または請求を受け、当社企業グループが損害を負担し、または代替技術の獲得もしくは開発を余儀なくされ、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 12. 金融市場に関するリスク

当社企業グループが保有する有価証券等の評価は、国内・海外の経済情勢や株式市場など金融市場の動向に依存し、影響を受けるため、資金運用等、投資における重要なリスクと捉えております。当社企業グループでは、有価証券等の時価を適時に把握することにより、リスクの最小化に取り組んでいますが、リスクを完全に回避することは難しく、資産価値の下落が当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。また、当社企業グループの保有する金融商品の価値が下落した場合、多額の損失が発生する可能性があります。加えて、今後、金融商品の時価に関する会計上の取扱いに関する制度・基準等が見直された場合には、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 13. 価格競争に関するリスク

当社企業グループが事業を展開する市場は、激しい価格競争下にあり、コンサルティングサービスの導入やソリューション提案型のITビジネスへの取り組みなどにより、利益率の確保に努めておりますが、競争の更なる激化や価格低減要請の長期化による受注価格の変動により、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 14. 自然災害等に関するリスク

地震や風水害等の自然災害、火災等の事故、大規模なシステム障害、感染症等による事業所閉鎖、物理的なテロやネットワークテロなど、外的な脅威が顕在化した際には、事業所、オフィスの確保、要員の確保、安全の確保等の観点から事業の継続に支障が発生し、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## 15. M&Aおよび資本業務提携等の投資に関するリスク

当社企業グループは、主力であるソフトウェア開発事業の他、先端技術関連事業、新規事業分野における事業規模の拡大、事業領域の拡大および収益基盤の強化を目的とした積極的なM & Aおよび資本・業務提携を推進しています。投資にあたっては、外部専門家の協力のもと、詳細なデュー・デリジェンスを実施するとともに、取締役会等において、事前に投資効果やリスク等を十分に検討した上で、実行しております。しかしながら、経営環境の変化等を要因として、当初見込んでいた利益が得られず、当該投資に対する回収可能性が低下する場合があります。回収可能性が低下する場合、経営の効率化および経営基盤の強化のため、事業再編等を実行することもあります。この場合において、一時的に再編に伴う費用が発生する可能性があり、当社グループの経営成績等に影響を及ぼす可能性があります。

また、事業再編等を適切な時期や方法で実施できないこともあり、この場合、投資の全部または一部が損失となる、あるいは追加出資が必要になる等、当社企業グループの経営成績等に影響が及ぶ可能性があります。

## ソフトウェア開発 (ビジネスアプリケーション開発、IT基盤システム構築)

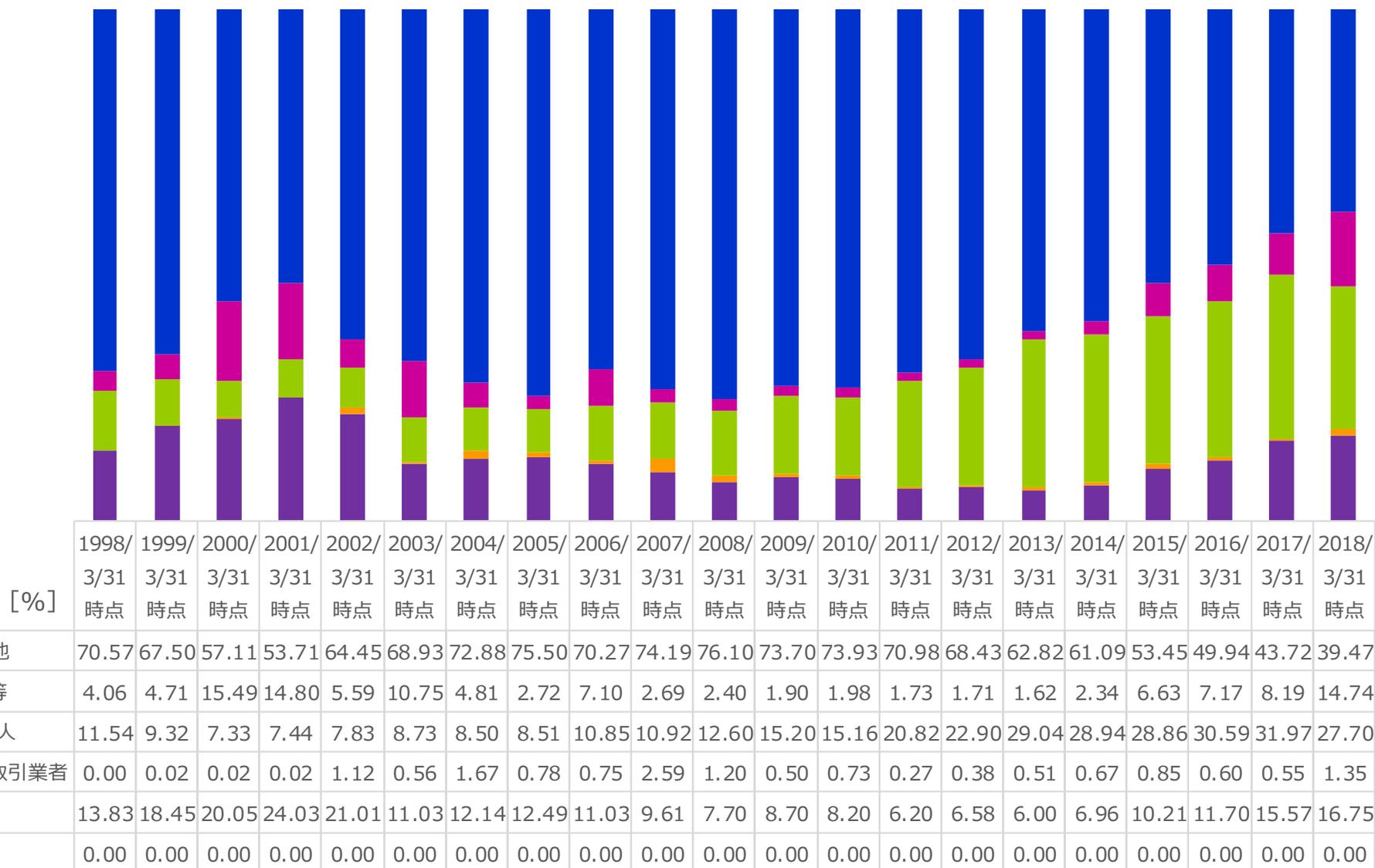
金融	旅行	小売り
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 銀行 融資稟議、与信管理、リスク管理、預金、融資、決済</li> <li>■ 生保・損保 事故受付支援、既契約情報管理、インターネット損保販売</li> <li>■ カード 会員管理、加盟店管理、債権情報管理、カード発行</li> <li>■ 証券 株式分析、確定拠出年金</li> </ul>	<p>国内旅行販売、 旅行代理店の商品造成、 旅行予約場貸しサイト</p> <div style="text-align: center;"> </div>	<p>ネット通販の販売管理、 量販店のPOS、 アパレルの販売分析、 百貨店の店員端末、 楽曲配信、 映画館のチケット販売</p> <div style="text-align: center;"> </div>
<div style="text-align: center;"> </div>	<p style="text-align: center;">航空</p> <p>座席予約サイト</p> <div style="text-align: center;"> </div>	<div style="text-align: center;"> </div>

## ソフトウェア開発 (ビジネスアプリケーション開発、IT基盤システム構築)

人材	物流
<p>人材マッチングサイト、 契約管理、 請求管理</p> <p>人材会社</p>	<p>荷物追跡、 配達員端末、 配送基地局の作業管理、 運行管理</p> <p>宅配</p>
ロボットアプリ	エネルギー
<p>介護施設のコンシェルジュ</p> <p>介護施設</p>	<p>電力会社の資材調達管理</p> <p>電力会社</p>

## 組み込み型ソフトウェア開発

カーエレクトロニクス		携帯情報端末		情報家電	
<p>自動車制御コンピュータシステム、 車載用機器制御のネットワークシステム、 コックピット用情報ディスプレイ、 オーディオ向けプラットフォーム開発、 センサー制御、 メーター表示、 機能安全コンサルティング</p>  <p>メーター表示 マルチメディア表示</p> <p>自動車</p>		<p>スマートフォン／携帯電話／PHS のカメラ・マルチメディア</p>  <p>カメラ</p> <p>携帯情報端末</p>		<p>デジタルテレビの映像信号の制御・ 放送規格の解析、 ビデオカメラの映像信号制御・画質制御、 スチールカメラのレンズ制御、 AIスピーカー</p>  <p>映像信号の制御</p> <p>宅配</p>	
鉄道	医療機器	電力	近距離無線通信		
<p>電力供給システム</p>  <p>電力供給</p> <p>鉄道</p>	<p>内視鏡、 内視鏡洗浄装置、 電気メス</p>  <p>内視鏡</p> <p>医療</p>	<p>火力発電装置、 送電装置</p> <p>製造機器</p> <p>半導体製造装置、 液晶製造装置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Wifi スマートフォン</li> <li>■ Bluetooth スマートフォン、ビデオカメラ</li> <li>■ DECT インターホン等音声通話システム、 IoT機器制御のデータ転送用機器</li> <li>■ RFID セキュリティロッカー</li> </ul>		



[クレスコ]

[日経平均]

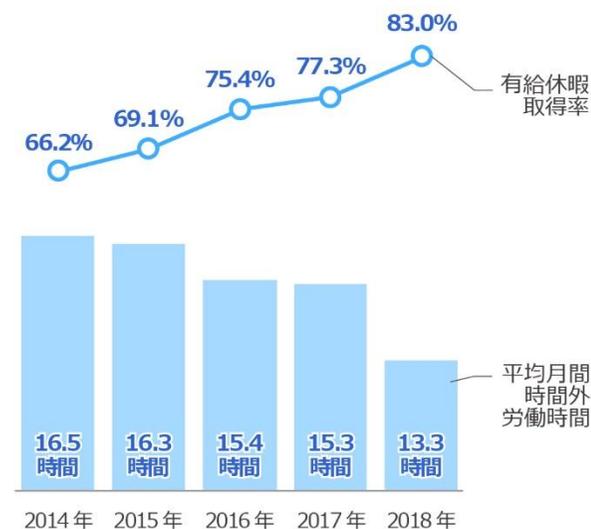




- **毎週水曜日**  
18時退社を推奨する  
「リフレッシュデー」
- **毎月第3水曜日**  
必ず18時に退社する  
「スーパー・リフレッシュデー」
- **対象**  
勤務地に関わらず、  
**すべての当社社員と、  
すべてのパートナー会社社員**

## 月間時間外労働時間・有給休暇取得率

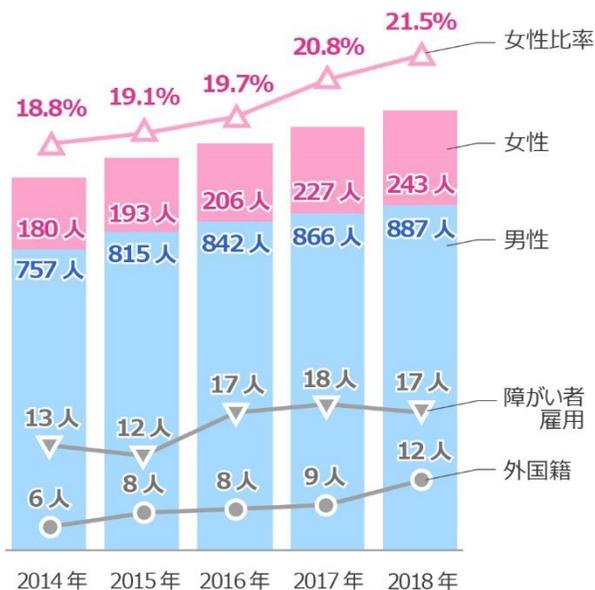
[3月末時点]



< JISA 統計による業界平均値 2017年度 >  
年間時間外労働：277 時間、有休取得率：63.4%

## 社員の構成

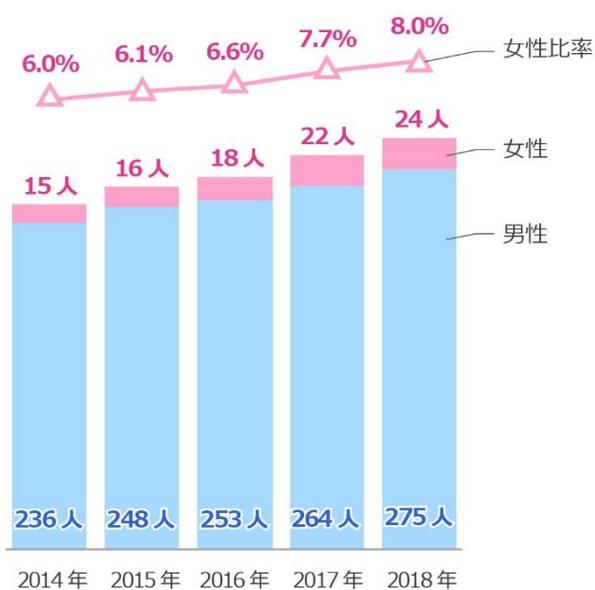
[4月1日時点]



< JISA 統計による業界平均値 2017 年度 >  
女性比率：21.0%

## 管理職の構成

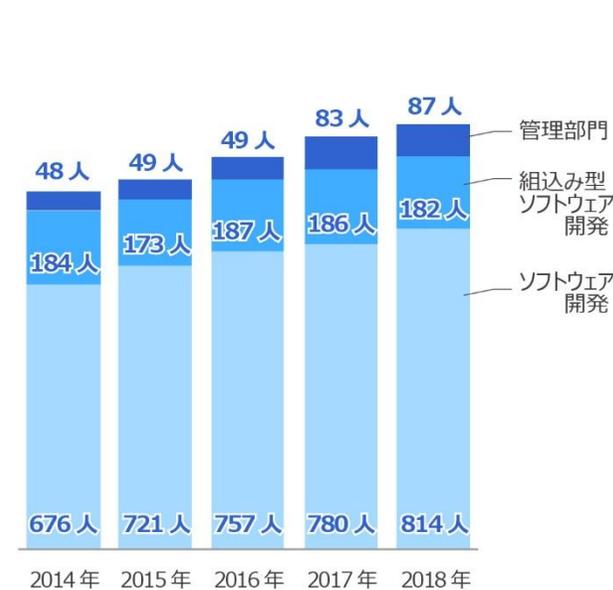
[4月1日時点]



< JISA 統計による業界平均値 2017 年度 >  
女性比率：5.4%

## 業務従事の構成

[3月末時点]

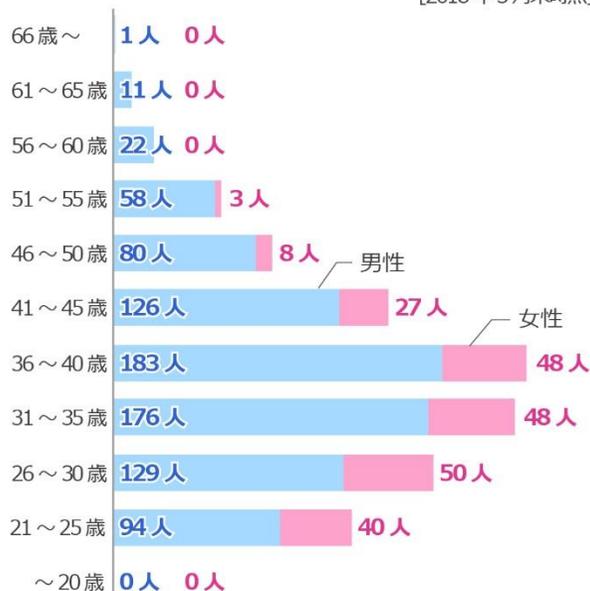


2017年9月に、女性活躍推進に関する取組みの実施状況が優良であると認められ、厚生労働大臣から認定マーク「えるぼし」の最高位に認定されました。



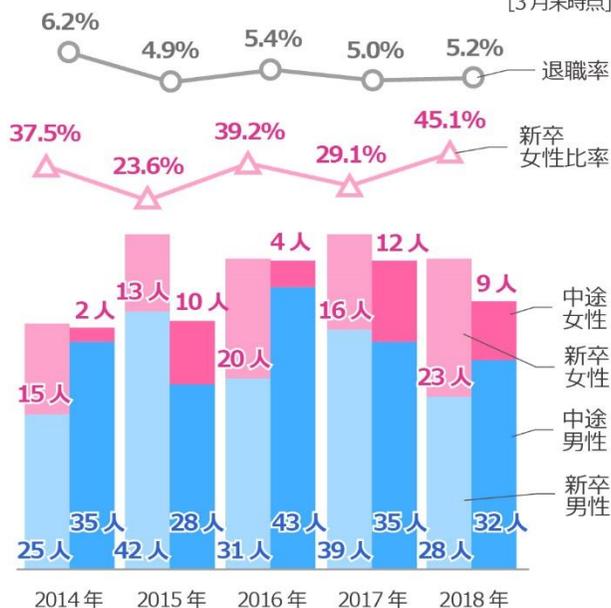
## 年齢の構成

[2018年3月末時点]



## 入社・退職率

[3月末時点]



< JISA 統計による業界平均値 2017年度 >  
新卒女性比率：31.5%

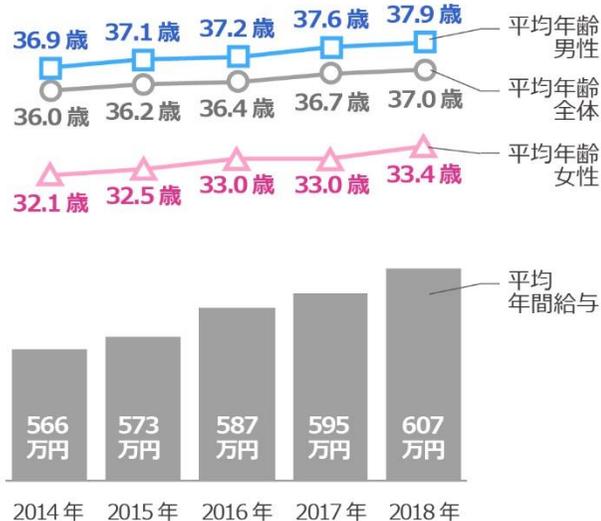
## 平均勤続年数

[3月末時点]



## 平均年齢・平均年間給与

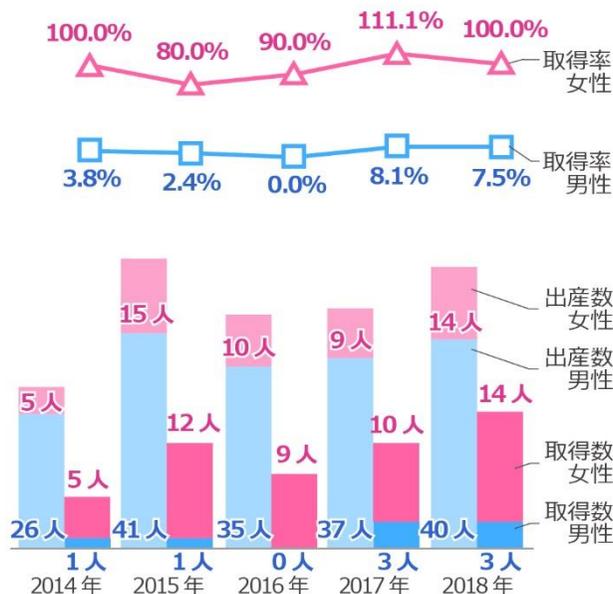
[3月末時点]



< JISA 統計による業界平均値 2017年度 >  
 平均年齢：40.1歳 [男性：41.0歳、女性：36.5歳]

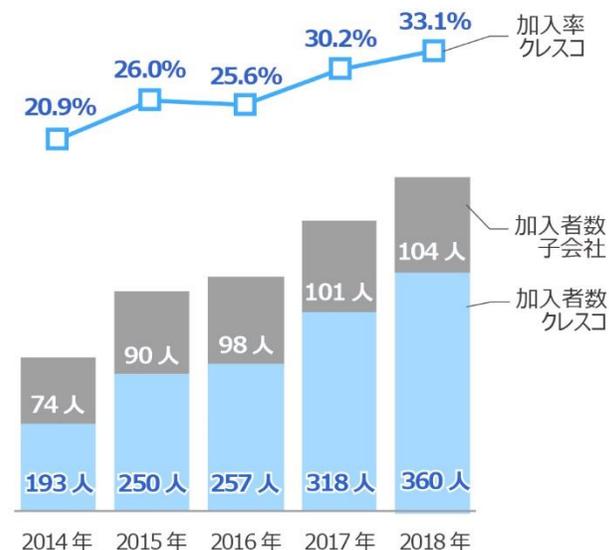
## 育児休業の取得

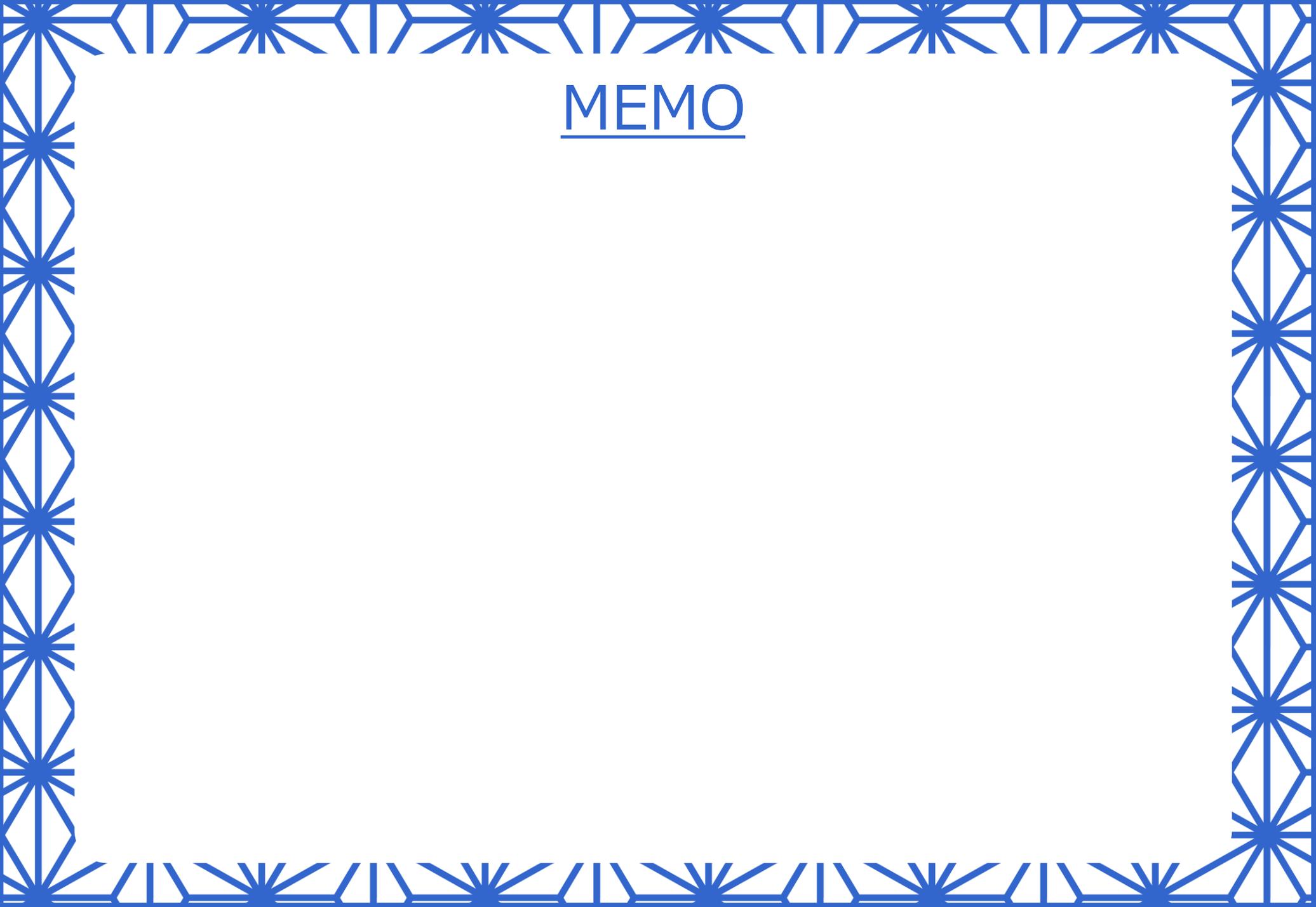
[5月末時点]



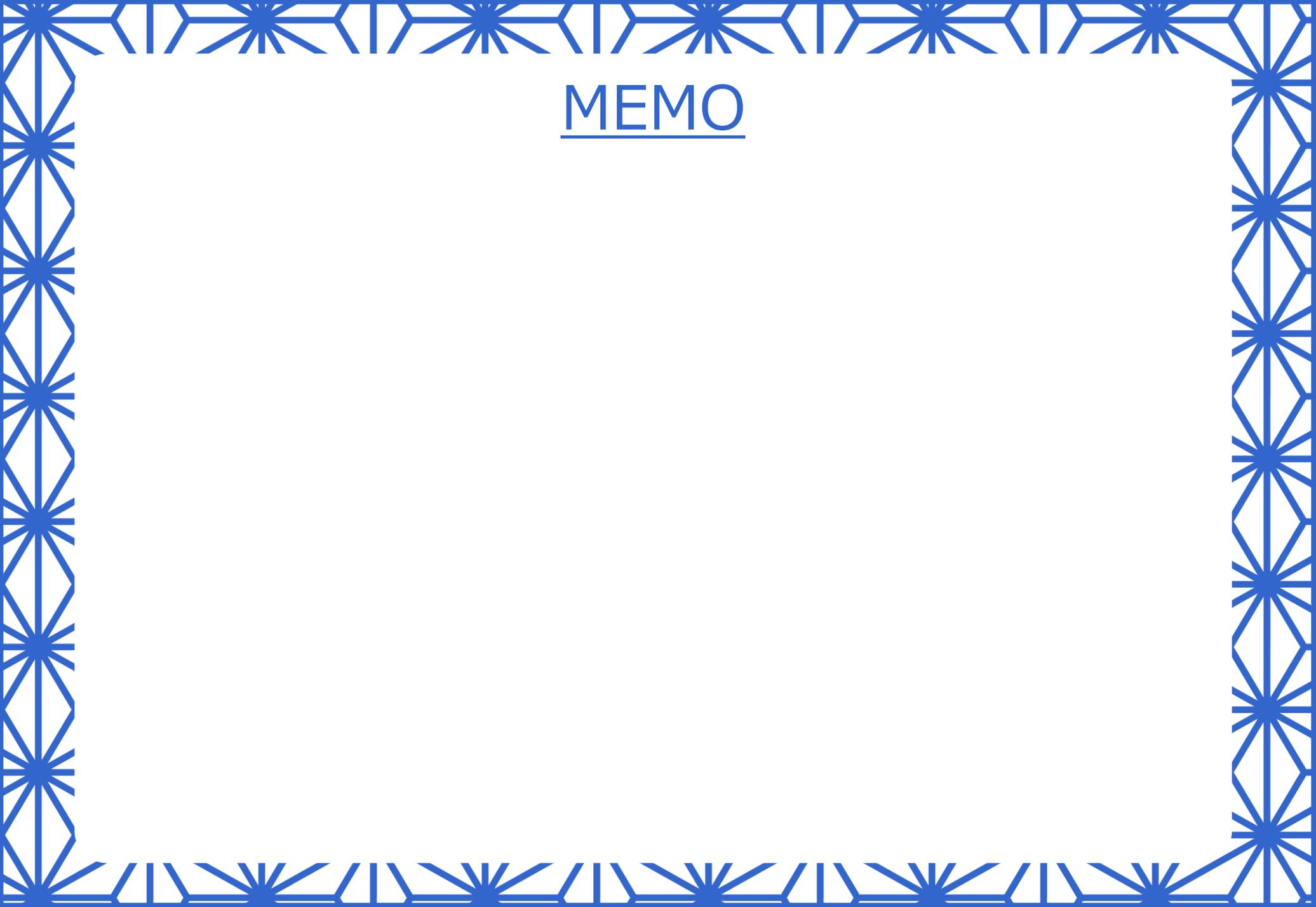
## 持株会への加入

[3月末時点]

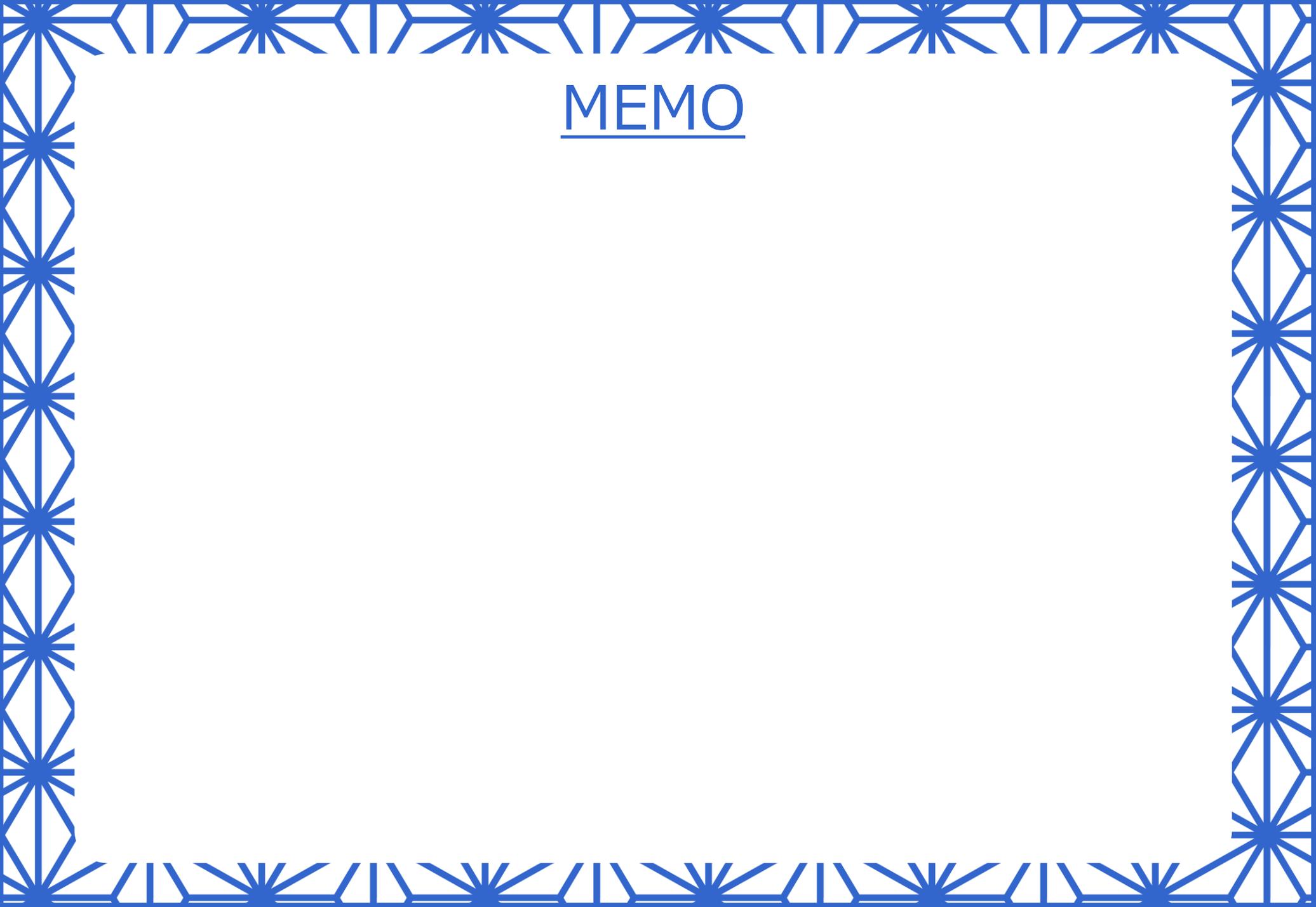




MEMO



MEMO



MEMO

## 免責事項等

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容とが異なる可能性もございます。予めご了承ください。

【 IRのお問合せ】

**株式会社 クレスコ**

広報IR推進室

Mail : [ir@cresco.co.jp](mailto:ir@cresco.co.jp)

TEL : 03-5769-8058